

「日本聴力障害新聞に、本校中学部生徒のお便りと先輩からの助言が掲載されました」

日本聴力障害新聞の連載「ろう学校だより 教えて先輩!!」に、本校中学部2年生の高柳さんのお便りが掲載されました。こちらの連載では、全国のろう学校の生徒の相談に対して、先輩が回答を送っています。今回が63回目の連載となります。

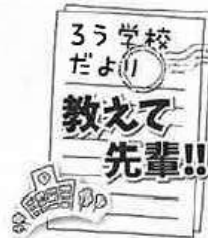
高柳さんは、将来の一人暮らしに向けて心配なことを具体的に尋ねました。卒業生の森先輩から、さまざまな状況を想定した温かなメッセージをいただきました。将来、自立した生活を送るための心構えを知る貴重な機会となりました。

〈63〉北海道札幌聾学校

聾学校の生徒が同校の先輩にお便りを送り、助言を頂くシリーズ。
今号は北海道の回です。



高柳さん



私は将来、一人暮らしをしたいと思っています。でも、次の3点の心配事があります。①火事や地震などの災害が発生したときにはどのように対応すればよいのでしょうか。②私は朝が苦手です。どうやったら一人で起きられるのでしょうか。③一人暮らしをするときは、近所の人に、私がかきこえないことを伝えた方がよいのでしょうか。

アドバイスをいただけたら助かります。どうぞよろしくお願いいたします。

たかなぎ ゆり
中学部2年 高柳 友里

先輩からのエール

「いろいろ考えると、
自立心が芽生えます」

北海道札幌聾学校 卒業生 森 良太さん



高柳さんへ

一人暮らしをする時期がきた時に、誰もが最初に悩むのは「朝に一人で起きられるか」ですね。僕の場合は、職場に遅刻したくない気持ちが強かったので意地でも起きるようにしていました。人によって起き方は様々ですが、自分に合う方法を考えることにより、自立心が芽生え、責任感が強くなり、自然に起きられるようになると思います。

それから、近所の人には勇気を持ってきこえないということを伝えましょう。そうしないと何かの時に誤解される可能性がありますし、はっきりと伝えて理解を得られれば、もう一つの課題である災害発生時も、近所の方々からいろいろとフォローしていただけたと思います。今後、一人では対処出来ない厳しさや理不尽さを感じることもあると思います。それに負けないためにも、自立心を高めて、人生を楽しむようにしてください。がんばれ！